

在学生活に関するアンケート（2021年度春学期）

調査結果 【概要版】

- 調査期間：2021年7月9日（金）～7月18日（日）
- 調査方法：Microsoft FormsによるWebアンケート
- 調査内容：週当たりの活動時間／ディプロマ・ポリシー意識度／身に付いた力
オンライン授業の実施状況・満足度・理解度／個人用PCの活用状況
- 回答者数：3,935名 【回答率：27.2%】
(学部別の回答者数について本ページ下部参照)

Special Thanks!!

アンケートにご回答いただいた3,935名の学生の皆さん、改めてお礼申し上げます。

お寄せいただいた回答は、個人が特定できないよう統計的に処理・集計したうえで各学部や事務局等に共有し、今後よりよい大学運営を行っていくために活用します。

京都産業大学は引き続き、皆さんの意見を「むすんで」、よりよい大学の形を「うみだす」ことに努めていきます。

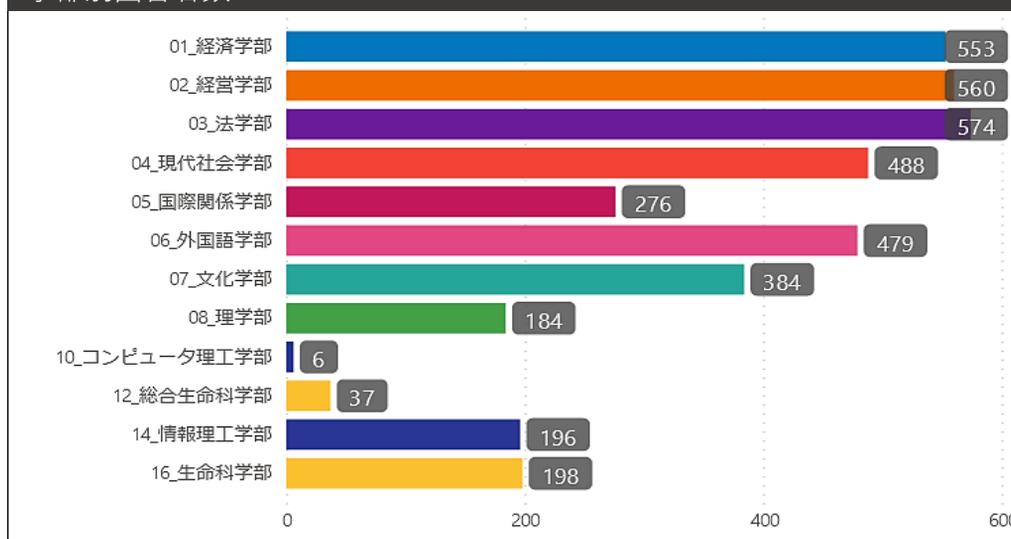
またご意見をお聞かせいただくこともあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



Index

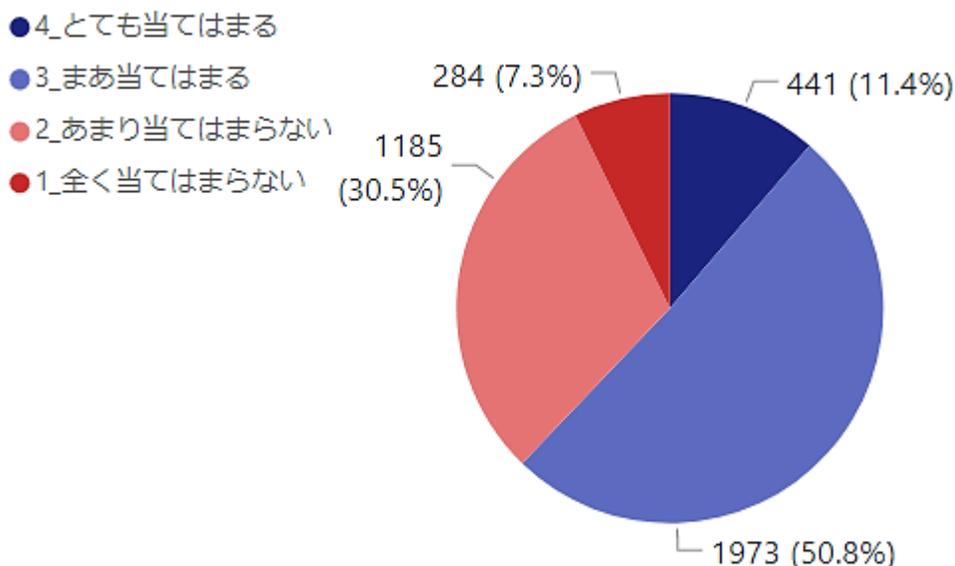
DPや目標を意識した学習について	・・・	P. 2
週当たりの活動時間について	・・・	P. 3
身に付いた力について	・・・	P. 4
オンライン授業の実施形態、満足度、理解度について	・・・	P. 6
個人用ノートパソコンの活用について	・・・	P. 7

学部別回答者数

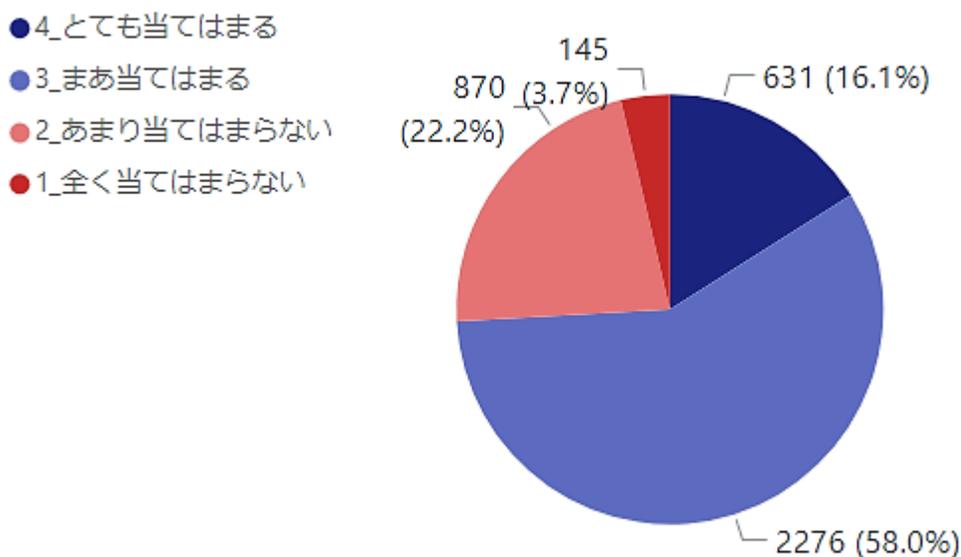


DPや目標を意識した学習について

「所属する学部・学科のDPを意識して学習を行った」の回答分布



「具体的な目的・目標を持って学習を行った」の回答分布



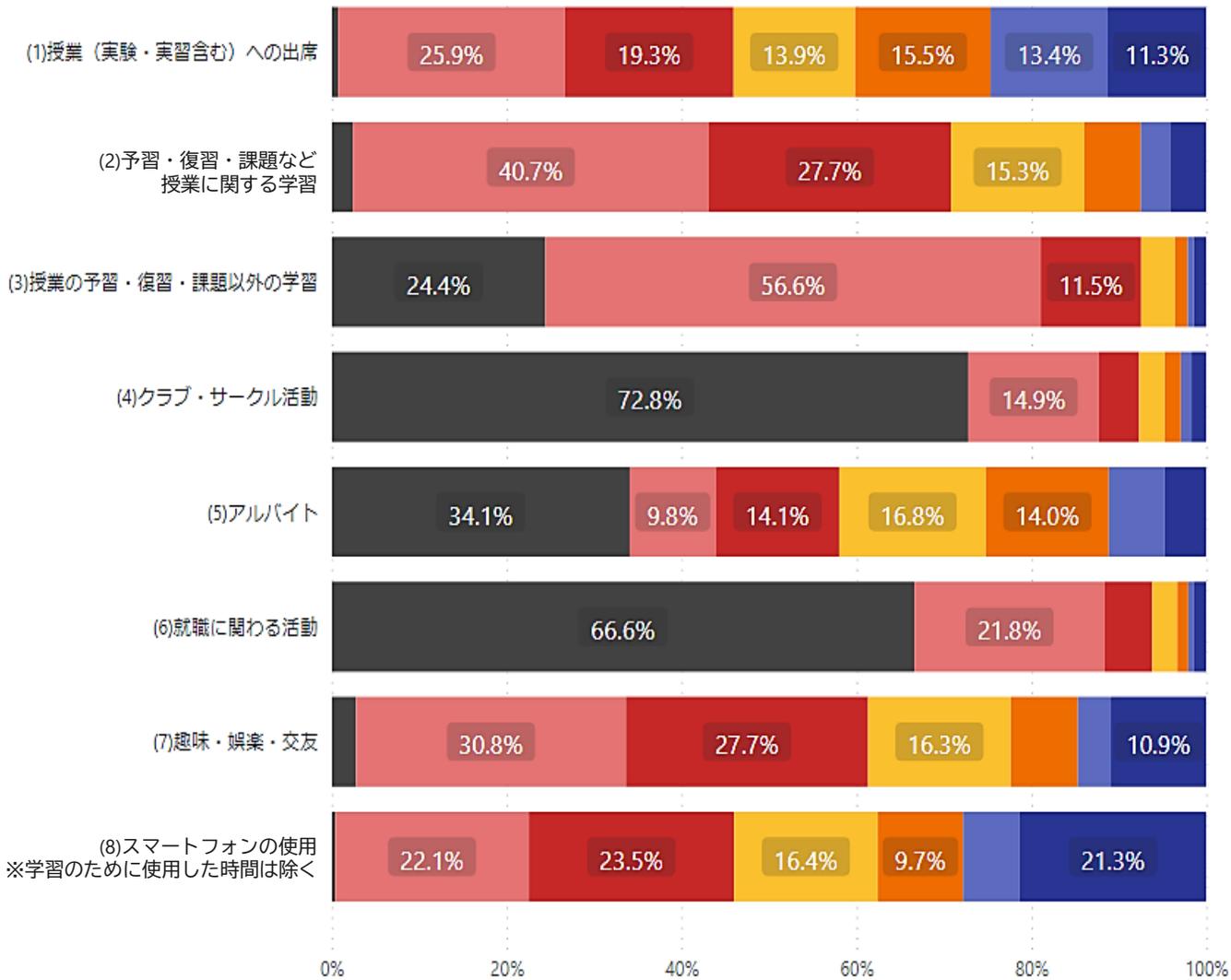
Point

- DP（ディプロマ・ポリシー／卒業認定・学位授与の方針）を意識した学習は、「とても当てはまる」の11.4%、「まあ当てはまる」の50.8%をあわせると6割程度が行っている。
- 目的や目標を設定した学習は、DP意識度よりやや高い傾向にあり、「とても当てはまる」の16.1%、「まあ当てはまる」の58.0%をあわせると7割程度が行っている。

週当たりの活動時間について

「授業期間中の平均的な1週間の時間の使い方」の回答分布

● A_0時間 ● B_1~4時間 ● C_5~8時間 ● D_9~12時間 ● E_13~16時間 ● F_17~20時間 ● G_21時間以上



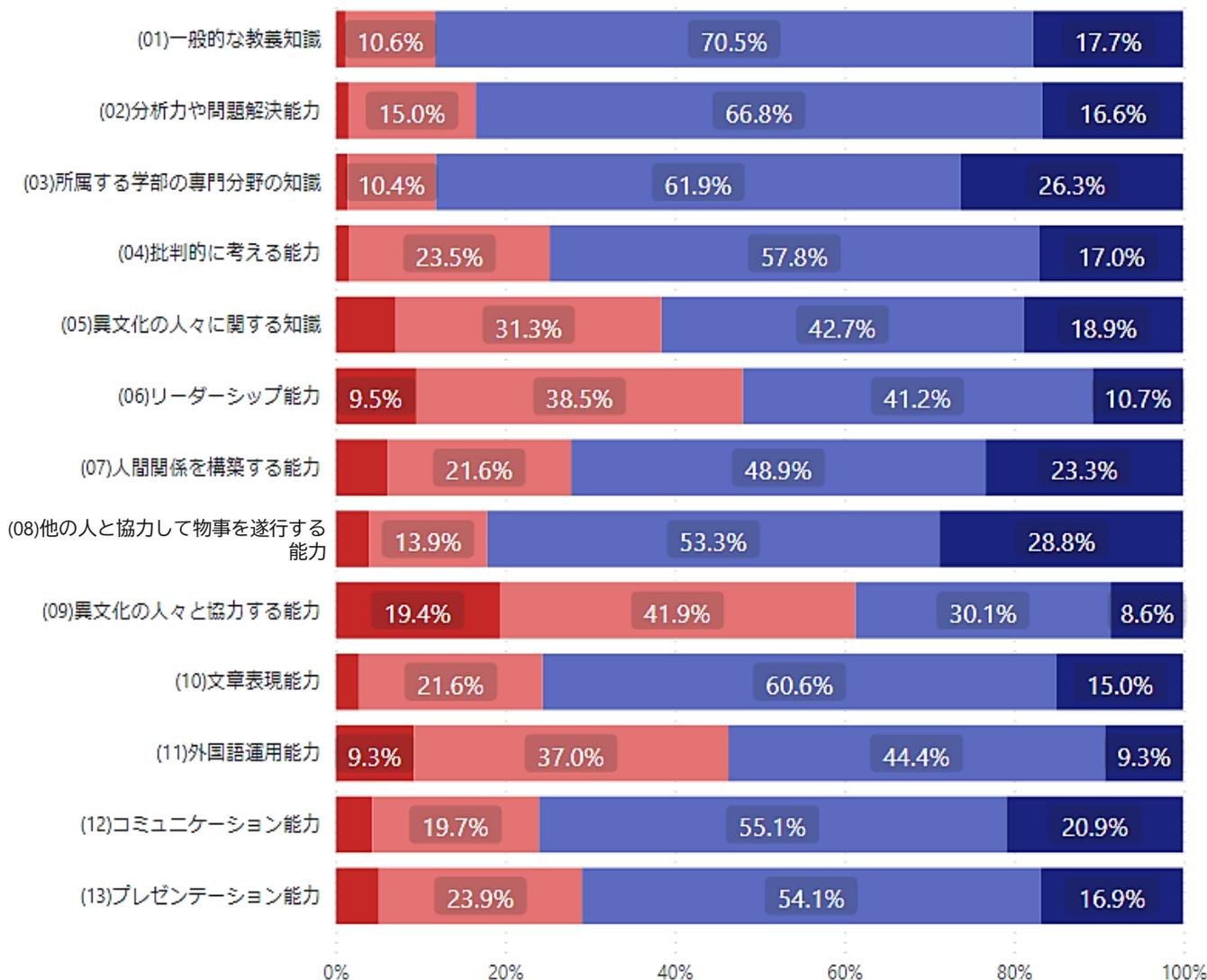
Point

- 「授業（実験・実習含む）への出席」は「9時間以上」が54.1%。一方で「予習・復習・課題など授業に関する学習」の「9時間以上」は29.2%にとどまった。
- クラブ・サークル活動やアルバイトに取り組めていない学生が過去のアンケート結果と比較して多い傾向にあり、コロナの影響かと思われる。

身に付いた力について ①

「大学入学後に身に付いた力」の回答分布

● 1_全く身に付いていない ● 2_あまり身に付いていない ● 3_やや身に付いた ● 4_とても身に付いた



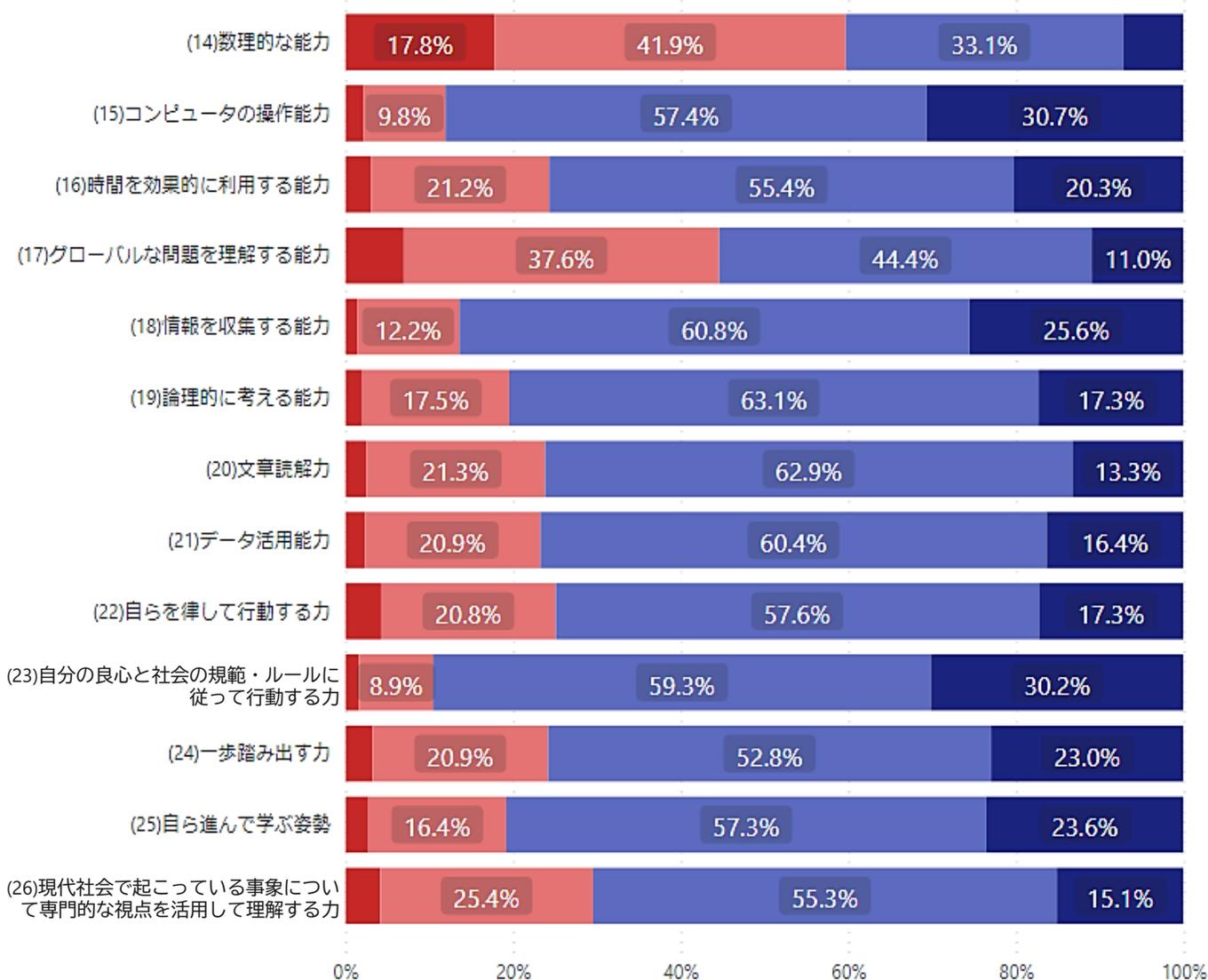
Point

- ほとんどの資質・能力において「やや身に付いた」という回答が多数派。在学中の調査であるため、資質・能力の修得は途上である傾向。
- 「異文化の人々に関する知識」および「異文化の人々と協力する能力」は、他の資質・能力と比較して相対的に修得度が低い。コロナ禍で異文化の方と触れあう機会が減少している影響かと思われる。

身に付いた力について ②

「大学入学後に身に付いた力」の回答分布

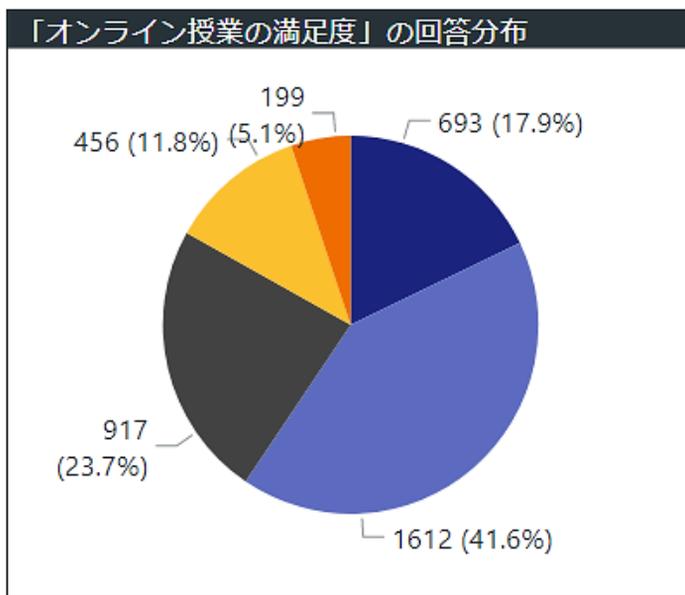
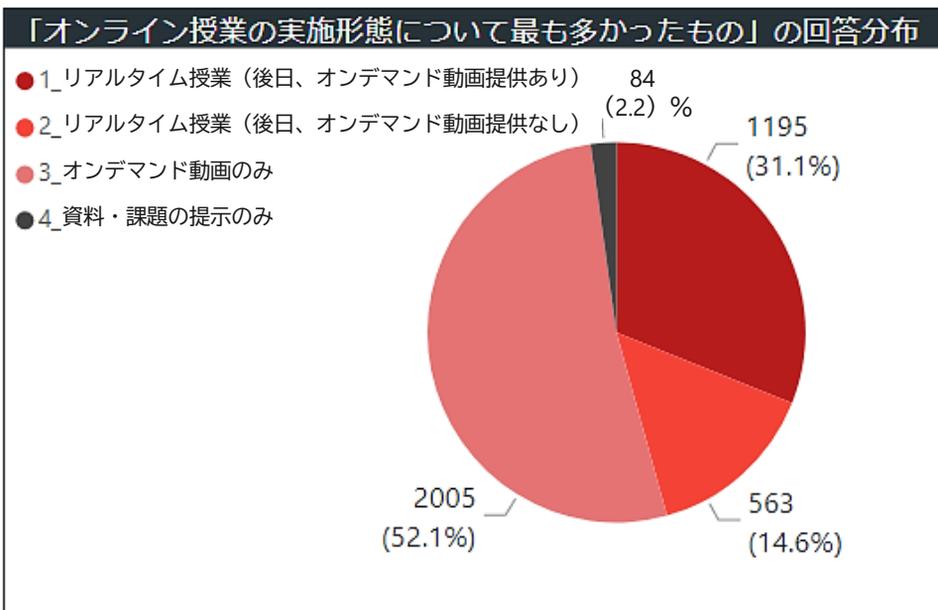
●1_全く身に付いていない ●2_あまり身に付いていない ●3_やや身に付いた ●4_とても身に付いた



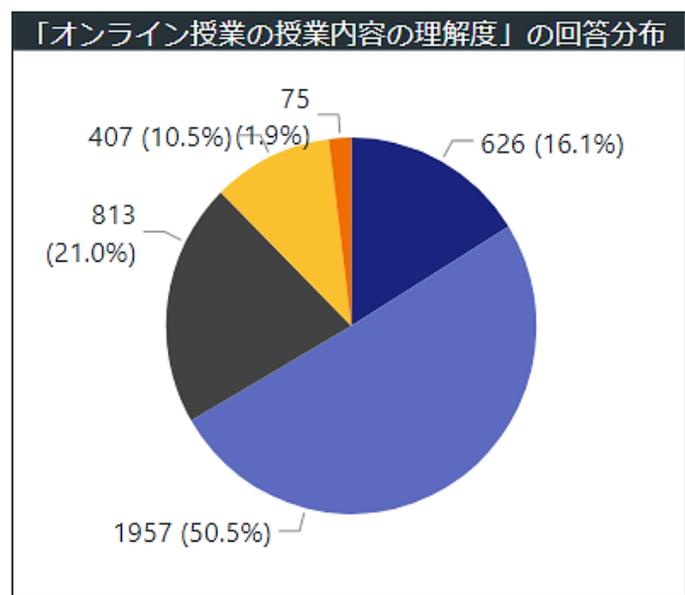
Point

- ほとんどの資質・能力において「やや身に付いた」という回答が多数派。在学中の調査であるため、資質・能力の修得は途上である傾向。
- 「コンピュータの操作能力」は「とても身に付いた」が30.7%と高く、かつ「やや身に付いた」の57.4%との合計も88.1%と高い。コロナ禍による教育のデジタル化や個人用ノートパソコンの活用推奨の影響かと思われる。

オンライン授業の実施形態、満足度、理解度について



●とても満足 / ●満足 / ●どちらとも
 ●あまり満足していない
 ●全く満足していない

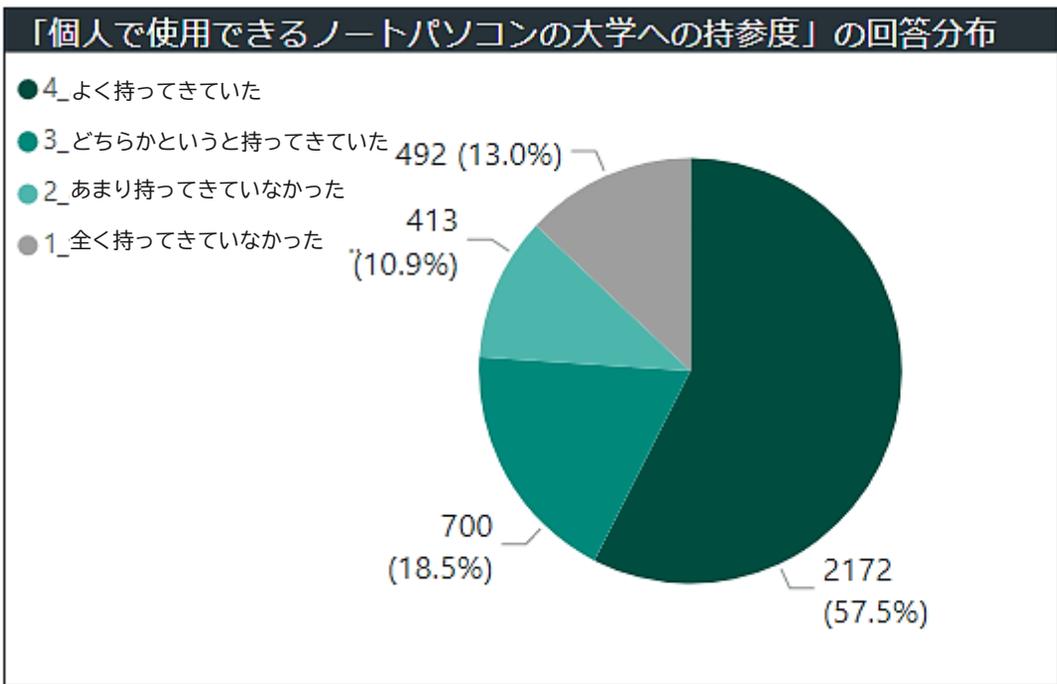
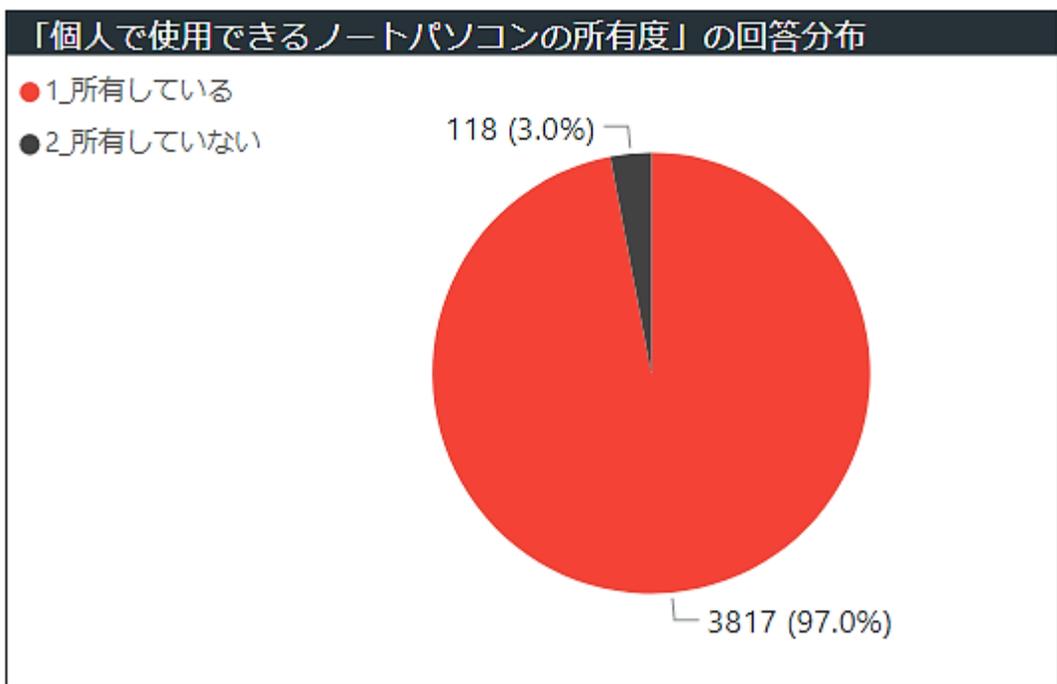


●とても理解 / ●理解 / ●どちらとも
 ●あまり理解できなかった
 ●全く理解できなかった

Point

- オンライン授業の実施形態は、いつでも・どこでも・何回でも授業を受けることができるオンデマンド動画提供型のものが多い。
- オンライン授業の総合的な満足度は「とても満足している」の17.9%、「満足している」の41.6%をあわせると6割程度。一方、理解度は7割弱程度。

個人用ノートパソコンの活用について ①



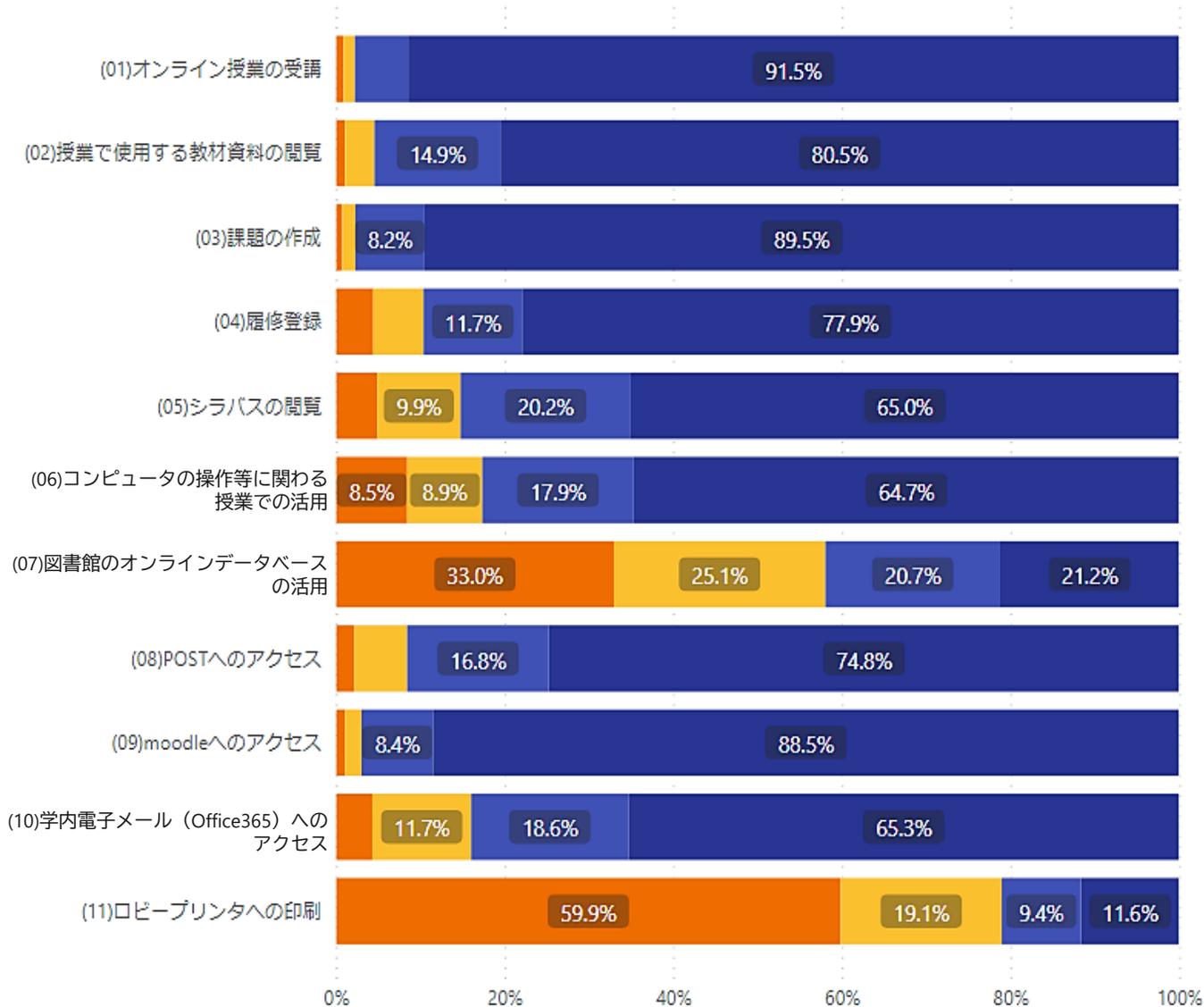
Point

- ほぼすべての学生が個人用ノートパソコンを所有している。
- 個人用ノートパソコンの大学への持参率は「よく持ってきていた」が57.5%、「どちらかという持ってきていた」が18.5%、あわせると76.0%。多くの学生が自身のノートパソコンを大学に持ってきている。

個人用ノートパソコンの活用について ②

「個人で使用できるノートパソコンの学習への活用方法」の回答分布

● 1_全く活用しなかった ● 2_あまり活用しなかった ● 3_どちらかという活用した ● 4_よく活用した



Point

- 個人用ノートパソコンは様々な形で学習に活用されている。オンライン授業の受講はもちろんのこと、LMSであるmoodleの活用にもつながっている様子。